

特養だより

新春号
令和8年1月



2026年 新年のあいさつ 施設長 原 健作

2026年の元旦を迎えました。良く晴れた暖かな新年です。

2025年度は、どんな年だったでしょうか？

当園にとっての大きな出来事は

- ①みんなの努力でコロナ・インフルなどの感染症クラスターを
起こさなかったこと
- ②第三者評価のアンケート結果が3年連続で改善し、良くなっ
てきたこと
- ③職員の腰痛が減少し、労災による休業が0日であったこと
- ④穏やかな看取りケアが続けられ、特に食後の口腔ケアがき
ちんと行われている事
- ⑤介護職不足の中、職員が入れ替わり業務に慣れ、江花介護
職員、松井介護職員、吉田介護職員、木村介護職員、伊関
介護職員が仲間となり、近藤作業療法士入職で訓練も始ま
っている。職員の安定は良いサービスの土台となっている
事。

諸物価高騰の中、財政的には苦戦が続き、経営はギリギリです
が、介護・看護の仕事が価値ある仕事として存在出来る様にし
ていきたいと考えてます。今後、介護機器の導入も予定してお
り、毎年一步でも前進していけば、10年後大きな前進となっ
ている事を期待します。

以下は年末年始の一コマです。



お獅子に噛まれて笑顔♪



今年もこのメンバーで
お願い致します！

